

氏名 土江 梨奈
授与した学位 博士
専攻分野の名称 医学
学位授与番号 博 甲第 7235 号
学位授与の日付 2025 年 3 月 25 日
学位授与の要件 医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻
(学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目 Lower Work Engagement Is Associated with Insomnia, Psychological Distress, and Neck Pain among Junior and Senior High School Teachers in Japan
(ワーク・エンゲージメントが低いことは、日本の中学校および高等学校の教員において、不眠、心理的苦痛、首の痛みと関連している)

論文審査委員 教授 頼藤貴志 教授 佐藤 勝 准教授 高尾総司

学位論文内容の要旨

日本の教員の勤労状況と心身の健康問題に関して社会的に関心が高まっているが、教員のワーク・エンゲージメント（仕事に対するポジティブな感情と充実度）に着目した大規模の研究が見当たらない。本研究は、ワーク・エンゲージメントと、健康問題である不眠、心理的苦痛、首の痛みを含めた関連要因を明らかにすることを目的として、全国の中学・高校教員を対象に研究を行った。調査は、全国の中学校および高等学校を無作為抽出し、所属する教員に対して質問紙調査を行った。ワーク・エンゲージメントは UWES-9 を用いて評価し、そのスコアを四分位に分け、統計的解析を行った。

基本属性を調整したロジスティック回帰分析の結果、UWES-9 スコアが低い群（第四四分位）はそのスコアが高い群（第一四分位）に対して、不眠、心理的苦痛、首の痛みのオッズ比が、統計的に有意に高かった。

本研究の結果から、日本の中学・高校教員の全国調査において、ワーク・エンゲージメントが低いことと身体的および精神的健康問題が正の関連を示している可能性を明らかにした。

論文審査結果の要旨

日本の教員のワーク・エンゲージメント（仕事に対するポジティブな感情と充実度）に着目した大規模な研究が見当たらない。本研究は、教員において、ワーク・エンゲージメントと、不眠・心理的苦痛・首の痛みとの関連を評価することを目的として研究を行った。ワーク・エンゲージメントは UWES-9 を用いて評価。ロジスティック回帰分析の結果、UWES-9 スコアが低い群（第四四分位）はそのスコアが高い群（第一四分位）に対して、不眠、心理的苦痛、首の痛みのオッズ比が、統計的に有意に高かった。

委員からは、ワーク・エンゲージメントの項目、結果指標の設定方法、回収方法の結果への影響、今後の展望など質問をされたが、具体的に回答した。

本研究は、日本の中学・高校教員の全国調査において、ワーク・エンゲージメントと身体的および精神的健康問題の関連に関して、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。